

食事要因と2型糖尿病発症との関連

根拠に基づく医学 (EBM): 社会医学実習 第1報

田中 景子¹⁾ 溝口 圭輔²⁾ 下口真理子²⁾
矢次 博²⁾ 濱田 薫²⁾ 坂東 弘基²⁾
岐部 高明²⁾ 小倉 玄睦²⁾ 辻本 篤志²⁾
三宅 吉博¹⁾

1) 福岡大学医学部公衆衛生学

2) 福岡大学医学部3年生

要旨：近年，糖尿病について関心が高まっており，多くの情報が氾濫している．今回私たちは，飲食物の摂取と糖尿病発症との関連について検討した前向きコホート研究（一部，症例対照研究を含む）を対象に，系統的レビューを行った．科学論文検索システムである Pub Med を活用した．最新のものからさかのぼって合計25編の原著論文を収集した．収集された論文を検討した結果，食物摂取と疾患発症との統計学的に有意な関連を報告した論文は少なく，多くの報告では，関連を認めていなかった．しかしながらコーヒー摂取と疾患発症との間に有意な負の関連を認めた論文が比較的多かった．一方，肉類摂取と疾患発症との間には有意な正の関連を認めた論文が比較的多かった．日本人を対象とした報告は無く，日本人と西洋人との違いなどのため結果の解釈には注意が必要である．

キーワード：食物，栄養，摂取，系統的レビュー，2型糖尿病